

は有意に多かった。地域での活動への参加は、「74歳以下」と「75歳以上」の間で有意な差は見られなかった。

- ・ 家族構成2区分における家庭内での役割は、「あり」が要支援では「一人暮らし」に比べて「一人暮らし以外」が有意に多かったが、要介護1では「一人暮らし以外」に比べて「一人暮らし」が有意に多かった。地域での役割および地域での活動への参加は、「あり」が要支援および要介護1ともに「一人暮らし以外」に比べて「一人暮らし」が有意に多かった。
- ・ 主観的健康感2区分にみた地域での活動への参加は、「あり」が要支援および要介護1ともに「健康でない」に比べて「健康である」が有意に多かった。
- ・ 老研式活動能力指標得点は、要支援および要介護1ともに家庭内での役割、地域での役割および地域での活動への参加のすべてにおいて、「なし」に比べて「あり」が有意に高くなっていた。
- ・ 認知症得点は、家庭内での役割および地域での役割において、「なし」に比べて「あり」が有意に低くなっていた。

(4) 外出頻度、外出範囲

- ・ 外出頻度は、「2～3日に1回程度」が要支援では4割弱、要介護1では3割強を占め最も多かったが、「ほとんど外出しない」が要支援では2割弱、要介護1では約3割を占めていた。
- ・ 外出範囲は、「徒歩で行ける範囲」が要支援では約4割、要介護1では約3割と最も多かったが、「ほとんど家の中」と「自宅の敷地内」を合わせたものが要支援では約2割、要介護1では4割弱を占めていた。
- ・ 性別の外出頻度は、「1週間に1回以上」が要支援では男性に比べて女性の方が有意に多かったが、要介護1では男性と女性の間で有意な差は見られなかった。
- ・ 年齢2区分にみた外出頻度は、「1週間に1回以上」が要支援および要介護1ともに「75歳以上の後期高齢者」に比べて「74歳以下」の方が有意に多かった。
- ・ 家族構成2区分にみた外出頻度は、「1週間に1回以上」が要支援および要介護1ともに「一人暮らし以外」に比べて「一人暮らし」の方が有意に多かった。
- ・ 過去1年間の転倒経験の有無における外出頻度は、「1週間に1回以上」については要支援および要介護1ともに「なし」に比べて「あり」の方が有意に多かった。
- ・ 家から出るときに段差等があり外出が制限されることの有無における外出頻度は、「1週間に1回以上」が要支援および要介護1ともに「制限あり」に比べて「制限なし」の方が有意に多かった。

(5) 生活習慣

- ・ 生活習慣は、いずれの項目も、要支援に比べ要介護1が気をつけていると回答した者が有意に多かった。
- ・ 生活習慣得点は、要介護1に比べて要支援の方が有意に高かった。
- ・ 「規則正しい生活をしているか」については、要支援および要介護1ともに「ほぼ規則正しい」が6割前後と最も多く、「規則正しい」と「ほぼ規則正しい」とを合わせると8割前後であった。

(6) サービス利用状況

- ・健康診査の受診間隔は、要支援および要介護1ともに「毎年」が最も多く7割強を占めていたが、「まったく受診しない」も要支援では1割強、要介護1では2割弱を占めていた。
- ・介護保険サービスの認知の程度は、要支援および要介護1ともに「よく知っている」が1割にも満たず、「ほとんど知らない」と「まったく知らない」とを合わせると3割前後を占めていた。
- ・現在の介護保険サービスの利用は、「あり」が要支援に比べて要介護1が有意に多かった。
- ・利用している介護保険サービスは、要支援および要介護1ともに、「訪問介護」が最も多く、次いで「住宅改修」であった。
- ・利用している保健福祉サービスは、要支援および要介護1ともに「食」の自立支援事業が最も多く、次いで「小地域ネットワーク（集団援助）」、「緊急通報体制等整備事業」であった。
- ・あればいいサービスは、要支援および要介護1ともに「人と交流できる場」が最も多く、次いで「趣味の教室」、「健康相談の場」であった。

4) 環境

(1) 家屋上の屋内の行動制限

- ・家の中に段差等不便な場所があり行動が制限されることの有無は、「あり」が要支援は3割弱、要介護1は4割を占め、家の中に段差等不便な場所があり行動が制限される者は、要支援に比べて要介護1の方が有意に多かった。

(2) 家屋上の外出時の制限

- ・家から出るときに段差等があり外出が制限されることの有無は、「あり」が要支援は3割弱、要介護1は4割強を占め、家から出るときに段差等があり外出が制限される者は、要支援に比べて要介護1の方が有意に多かった。

要支援に比べて要介護1は、身体・心理・社会的側面および環境の健康水準が低いことが示され、同じ予防給付対象者であっても違いがみられた。また、要介護の一因となりうる、排泄の失敗、咀嚼能力の低下、抑うつ、閉じこもり等についての、要支援及び要介護1認定者の実態が明らかになった。

6. おわりに

要支援および要介護1の身体・心理・社会的側面および環境を明らかにすることを目的として、要支援および要介護1への平成16年度初回調査を実施した。平成16年度初回調査は横断研究であるため、要支援および要介護に関する要介護度の推移の状況とその要因を明らかにすることは困難であるので、平成17年度1年後調査の結果より明らかにしていきたい。

初回調査及び平成17年度末に実施した1年後調査の縦断的な分析を3年計画の2年次の平成18年度に実施する。1年後における要介護度の変化を従属変数とし、身体、心理、社会、環境の各項目を独立変数とする多重ロジスティック回帰分析等を行うことにより、要支援及び要介護に関する要介護度の推移の状況とその要因を明らかにしていきたい。また、その要因を基に介護予防のために介入が必要な対象と内容を明確にし、介護予防プログラムの開発の検討を行う。3年計画の3年次の平成19年度には、開発した介護予防プログラムを実施し、評価を行う予定である。

7. 謝辞

本研究の実施に際し、多大なるご協力をいただきました大阪府下22市町村の要支援および要介護1の皆様、介護保険主管課の皆様に厚くお礼申し上げます。

8. 文献

- 1) 厚生労働省：介護保険事業報告，2004
- 2) 厚生労働省介護制度改革本部：介護保険制度の見直しについて，2004
- 3) 内田陽子：在宅ケア利用者の要介護レベル別ADL変化からみた費用の効率的な使用法，お茶の水医学雑誌，50(4)，145-155，2002
- 4) 吉田裕人他：介護予防の経済評価に向けたデータベース作成—高齢者の自立度別の医療・介護給付費—，厚生指標，51(5)，2004
- 5) 日本公衆衛生協会：平成14年度厚生労働省老人保健事業推進費補助金事業支援が必要な高齢者への保健福祉サービス提供状況および提供体制に関する調査研究，2003
- 6) 長寿科学総合研究CGAガイドライン研究班：高齢者総合的機能評価ガイドライン，厚生科学研究所，2003

9. 資料

「要支援」認定者への調査票

初年度用

ID番号

介護保険の要介護認定「要支援」認定者のみなさまへ

アンケートのお願い

初秋の候、皆様におかれましてはご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび〇〇市町村の介護保険の要介護認定におきまして平成16年〇月～〇月に「要支援」と認定されました皆様を対象として、健康や日常生活のご様子についてのアンケート調査をさせていただくことになりました。

現在の皆様の健康や日常生活のご様子と、1年後のご様子をそれぞれ同様のアンケートにてお伺いしたいと思っております。現在と1年後のご様子を分析することによってよりよい健康状態を保っていくためにどのような保健福祉サービスが必要かを検討し、〇〇市町村における保健福祉サービスの充実のために役立てていきたいと考えております。また、本年9月に厚生労働省より「介護保険の見直しについて」が示され、その中に要支援者、要介護1などの方を対象とした「新・予防給付」の創設があげられました。〇〇市町村の「新・予防給付」の創設にあたり貴重な資料とさせていただきたいと考えております。

なお、ご記入いただいた内容は目的以外には使用いたしません。また、ご回答の有無によって皆様に不利益が生じることはありません。健康や日常生活の現在と1年後の変化を教えてくださいのためにアンケート用紙に番号をつけておりますが、プライバシーの保護を優先し、お答えいただきました内容は全体として集計いたしますので個人的な資料がでることは決してありませんのでご安心してご記入ください。アンケート用紙は2枚で表と裏に印刷してあります。おおよそ10分程度で終わりますのでご協力くださいますようお願いいたします。同封の返信用封筒にて 月 日までにご返送いただきますようお願い致します。

(なお、本調査の集計、分析は、大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻、大阪府立看護大学看護学部にて依頼して実施いたします。)

〇〇市町村〇〇部介護保険主管課
担当 〇〇、〇〇

1. バスや電車を使って一人で外出できますか
1. はい 2. いいえ
2. 日用品の買い物ができますか
1. はい 2. いいえ
3. 自分で食事の用意ができますか
1. はい 2. いいえ
4. 請求書の支払いができますか
1. はい 2. いいえ
5. 銀行預金・郵便貯金の出し入れが自分でできますか
1. はい 2. いいえ
6. 年金などの書類が書けますか
1. はい 2. いいえ
7. 新聞を読んでいますか
1. はい 2. いいえ
8. 本や雑誌を読んでいますか
1. はい 2. いいえ
9. 健康についての記事や番組に興味がありますか
1. はい 2. いいえ
10. 友だちの家を訪ねることがありますか
1. はい 2. いいえ
11. 家族や友だちの相談にのることがありますか
1. はい 2. いいえ
12. 病人を見舞うことができますか
1. はい 2. いいえ
13. 若い人に自分から話しかけることがありますか
1. はい 2. いいえ
14. 同じことを何度もたずねることがありますか
1. はい 2. いいえ
15. 物の名前がでてこないことがありますか
1. はい 2. いいえ

16. 物のしまい忘れや物をなくすことがありますか

1. はい 2. いいえ

17. 以前興味のあったことに関心が薄くなってきましたか

1. はい 2. いいえ

D. 日常生活についておうかがいします

1. 生活習慣について気をつけていることに○をつけてください

《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 適度な睡眠をとる | 2. 朝食をとる |
| 3. 間食やおやつをとりすぎない | 4. 塩分をとりすぎない |
| 5. お酒を飲みすぎない | 6. たばこを吸わない |
| 7. 定期的な運動（散歩など）をする | 8. 適正な体重を保つ |
| 9. 栄養のバランスを考えて食べる | |

2. 規則正しい生活をしていますか

1. 規則正しい 2. ほぼ規則正しい 3. あまり規則正しくない 4. 不規則

3. 食べ物の固さではどのくらいのものが噛めますか

- | | |
|------------|-------------------|
| 1. なんでもかめる | 2. たいていのものはかめる |
| 3. あまりかめない | 4. ほとんど又はまったくかめない |

4. 日常生活の自立の程度についてそれぞれあてはまるものに○をつけてください

- | | | |
|----------------------------------|------------|----------|
| 1. 食事 | 1. ひとりでできる | 2. 介助が必要 |
| 2. 着替え | 1. ひとりでできる | 2. 介助が必要 |
| 3. 入浴 | 1. ひとりでできる | 2. 介助が必要 |
| 4. 移動動作（布団やベッドの昇降、いすへの着席、起き上がり） | 1. ひとりでできる | 2. 介助が必要 |
| 5. 歩行 | 1. ひとりでできる | 2. 介助が必要 |
| 6. トイレに行く（トイレへの移動、排泄、後始末、衣類をたたく） | 1. ひとりでできる | 2. 介助が必要 |
| 7. 大小便を失敗することがありますか | 1. ある | 2. ない |

5. 外出頻度についてあてはまるものに○をつけてください

1. 毎日1回以上 2. 2～3日に1回程度
3. 1週間に1回程度 4. ほとんど外出しない

6. 外出範囲についてあてはまるものに○をつけてください

1. ほとんど家の中 2. 自宅の敷地内 3. 隣近所
4. 徒歩で行ける範囲 5. 乗り物を利用して行く場所

7. 家の中に段差等不便な場所があり行動が制限されますか

1. はい 2. いいえ

8. 家から出るときに段差等があり、外出が制限されますか

1. はい 2. いいえ

9. 同居のご家族との付き合いの程度についてあてはまるものに○をつけてください

1. よく話す 2. ときどき話す
3. ほとんど話をすることもない 4. 同居の家族はいない

10. 別居の親戚や兄弟姉妹との付き合いの程度についてあてはまるものに○をつけてください

1. よく話す 2. ときどき話す
3. ほとんど話をすることもない 4. 別居の親戚や兄弟姉妹はいない

11. 友人・知人との付き合いの頻度についてあてはまるものに○をつけてください

1. 毎日 2. 週1～2回 3. 月1～2回 4. 月1回未満

12. 近所付き合いについてあてはまるものに○をつけてください

1. 困ったときにお互い相談したり助け合ったりする
2. 気軽に行き来する 3. ときどき世間話する
4. 会えば挨拶する程度 5. ほとんど付き合いはない

13. 家庭内での役割（家事、孫の世話、家計の管理など）をおもちですか

1. はい 2. いいえ

14. 地域での役割（自治会・老人会の役員、ボランティアなど）をおもちですか

1. はい 2. いいえ

15. 地域での活動（自治会・老人会の年行事、おまつりなど）に参加していますか

1. はい 2. いいえ

3. 現在、利用している「介護保険サービス」についてあてはまるものに○をつけてください《あてはまるものすべてに○》

1. 訪問介護（ホームヘルプサービス）
2. 訪問入浴介護
3. 訪問看護
4. 訪問リハビリテーション
5. 通所介護（デイサービス）
6. 通所リハビリテーション（デイケア）
7. ベッドのレンタル
8. 車椅子（電動含む）のレンタル
9. その他（ ）のレンタル
10. 短期入所生活（療養）介護（ショートステイ）
11. ポータブルトイレの購入
12. 入浴関連用具（シャワーベンチなど）の購入
13. その他（ ）の購入
14. 住宅改修（手すり、段差の解消など）
15. 有料老人ホームなど
16. 全く知らなかったので利用していない
17. 必要性がないので利用していない

4. その他の利用しているサービスについてあてはまるものに○をつけてください

《あてはまるものすべてに○》

1. ふれあいサロン
2. ミニデイ
3. 転倒予防教室
4. 地区健康教室
5. シルバーデイハウス
6. 緊急通報システム「きずな」
7. 配食サービス
8. その他（ ）

5. あればよいと思うサービスについてあてはまるものに○をつけてください

《あてはまるものすべてに○》

1. 人と交流できる場
2. 毎日出かけられる場
3. 運動・体操の教室
4. 趣味の教室
5. 農作業・園芸の機会
6. ボランティアの機会
7. パソコン・インターネットの教室
8. 働く場
9. 健康相談の場
10. 健康に関する講座
11. その他（ ）

6. ○○市の保健福祉サービスへのご意見等ございましたらご記入ください

最後までご回答いただきありがとうございました

初年度用

介護保険の要介護認定「要介護1」認定者のみなさまへ

アンケートのお願い

初秋の候、皆様におかれましてはご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび〇〇市町村の介護保険の要介護認定におきまして平成16年〇月～〇月に「要支援」と認定されました皆様を対象として、健康や日常生活のご様子についてのアンケート調査をさせていただくことになりました。

現在の皆様の健康や日常生活のご様子と、1年後のご様子をそれぞれ同様のアンケートにてお伺いしたいと思っております。現在と1年後のご様子を分析することによってよりよい健康状態を保っていくためにどのような保健福祉サービスが必要かを検討し、〇〇市町村における保健福祉サービスの充実のために役立てていきたいと考えております。また、本年9月に厚生労働省より「介護保険の見直しについて」が示され、その中に要支援者、要介護1などの方を対象とした「新・予防給付」の創設があげられました。〇〇市町村の「新・予防給付」の創設にあたり貴重な資料とさせていただきたいと考えております。

なお、ご記入いただいた内容は目的以外には使用いたしません。また、ご回答の有無によって皆様に不利益が生じることはありません。健康や日常生活の現在と1年後の変化を教えてくださいのためにアンケート用紙に番号をつけておりますが、プライバシーの保護を優先し、お答えいただきました内容は全体として集計いたしますので個人的な資料がでることは決してありませんのでご安心してご記入ください。アンケート用紙は2枚で表と裏に印刷してあります。およそ10分程度で終わりますのでご協力くださいますようよろしくお願いいたします。同封の返信用封筒にて 月 日までにご返送いただきますようお願い致します。

(なお、本調査の集計、分析は、大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻、大阪府立看護大学看護学部にて依頼して実施いたします。)

〇〇市町村〇〇部介護保険主管課
担当 〇〇、〇〇

1. バスや電車を使って一人で外出できますか
1. はい 2. いいえ
2. 日用品の買い物ができますか
1. はい 2. いいえ
3. 自分で食事の用意ができますか
1. はい 2. いいえ
4. 請求書の支払いができますか
1. はい 2. いいえ
5. 銀行預金・郵便貯金の出し入れが自分でできますか
1. はい 2. いいえ
6. 年金などの書類が書けますか
1. はい 2. いいえ
7. 新聞を読んでいますか
1. はい 2. いいえ
8. 本や雑誌を読んでいますか
1. はい 2. いいえ
9. 健康についての記事や番組に興味がありますか
1. はい 2. いいえ
10. 友だちの家を訪ねることがありますか
1. はい 2. いいえ
11. 家族や友だちの相談にのることがありますか
1. はい 2. いいえ
12. 病人を見舞うことができますか
1. はい 2. いいえ
13. 若い人に自分から話しかけることがありますか
1. はい 2. いいえ
14. 同じことを何度もたずねることがありますか
1. はい 2. いいえ
15. 物の名前がでてこないことがありますか
1. はい 2. いいえ

16. 物のしまい忘れや物をなくすことがありますか

1. はい 2. いいえ

17. 以前興味があったことに関心が薄くなってきましたか

1. はい 2. いいえ

D 日常生活についておうかがいします

1. 生活習慣について気をつけていることに○をつけてください

《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 適度な睡眠をとる | 2. 朝食をとる |
| 3. 間食やおやつをとりすぎない | 4. 塩分をとりすぎない |
| 5. お酒を飲みすぎない | 6. たばこを吸わない |
| 7. 定期的な運動（散歩など）をする | 8. 適正な体重を保つ |
| 9. 栄養のバランスを考えて食べる | |

2. 規則正しい生活をしていきますか

1. 規則正しい 2. ほぼ規則正しい 3. あまり規則正しくない 4. 不規則

3. 食べ物の固さではどのくらいのものが噛めますか

- | | |
|------------|-------------------|
| 1. なんでもかめる | 2. たいていのものはかめる |
| 3. あまりかめない | 4. ほとんど又はまったくかめない |

4. 日常生活の自立の程度についてそれぞれあてはまるものに○をつけてください

- | | | |
|----------------------------------|------------|----------|
| 1. 食事 | 1. ひとりでできる | 2. 介助が必要 |
| 2. 着替え | 1. ひとりでできる | 2. 介助が必要 |
| 3. 入浴 | 1. ひとりでできる | 2. 介助が必要 |
| 4. 移動動作（布団やベッドの昇降、いすへの着席、起き上がり） | 1. ひとりでできる | 2. 介助が必要 |
| 5. 歩行 | 1. ひとりでできる | 2. 介助が必要 |
| 6. トイレに行く（トイレへの移動、排泄、後始末、衣類をたたく） | 1. ひとりでできる | 2. 介助が必要 |
| 7. 大小便を失敗することがあります | 1. ある | 2. ない |

5. 外出頻度についてあてはまるものに○をつけてください

1. 毎日1回以上 2. 2～3日に1回程度
3. 1週間に1回程度 4. ほとんど外出しない

6. 外出範囲についてあてはまるものに○をつけてください

1. ほとんど家の中 2. 自宅の敷地内 3. 隣近所
4. 徒歩で行ける範囲 5. 乗り物を利用して行く場所

7. 家の中に段差等不便な場所があり行動が制限されますか

1. はい 2. いいえ

8. 家から出るときに段差等があり、外出が制限されますか

1. はい 2. いいえ

9. 同居のご家族との付き合いの程度についてあてはまるものに○をつけてください

1. よく話す 2. ときどき話す
3. ほとんど話をすることもない 4. 同居の家族はいない

10. 別居の親戚や兄弟姉妹との付き合いの程度についてあてはまるものに○をつけてください

1. よく話す 2. ときどき話す
3. ほとんど話をすることもない 4. 別居の親戚や兄弟姉妹はいない

11. 友人・知人との付き合いの頻度についてあてはまるものに○をつけてください

1. 毎日 2. 週1～2回 3. 月1～2回 4. 月1回未満

12. 近所付き合いについてあてはまるものに○をつけてください

1. 困ったときにお互い相談したり助け合ったりする
2. 気軽に行き来する 3. ときどき世間話する
4. 会えば挨拶する程度 5. ほとんど付き合いはない

13. 家庭内での役割（家事、孫の世話、家計の管理など）をおもちですか

1. はい 2. いいえ

14. 地域での役割（自治会・老人会の役員、ボランティアなど）をおもちですか

1. はい 2. いいえ

15. 地域での活動（自治会・老人会の年行事、おまつりなど）に参加していますか

1. はい 2. いいえ

16. 趣味はおもちですか。おもちの場合その内容をご記入ください

1. はい () 2. いいえ

17. 生きがいをおもちですか。おもちの場合その内容をご記入ください

1. はい () 2. いいえ

E お気持ちについておうかがいします。以下の質問について「はい」か「いいえ」のどちらかに○をつけてください

1. 毎日の生活に満足していますか

1. はい 2. いいえ

2. 毎日が退屈だと思ふことが多いですか

1. はい 2. いいえ

3. 外出したり何か新しいことをするよりも家にいたいと思ひますか

1. はい 2. いいえ

4. 生きていても仕方がないと思ふ気持ちになることがありますか

1. はい 2. いいえ

5. 自分が無力だと思ふことが多いですか

1. はい 2. いいえ

F 保健福祉サービスについておうかがいします

1. 健康診査はどのくらいの間隔で受けられていますか。あてはまるものに○をつけてください

1. 毎年 2. 2～3年に1回程度 3. まったく受診しない

2. 介護保険サービスの内容についてどの程度ご存知ですか

1. よく知っている 2. まあまあ知っている
3. ほとんど知らない 4. まったく知らない

3. 現在、利用している「介護保険サービス」についてあてはまるものに○をつけてください《あてはまるものすべてに○》

1. 訪問介護（ホームヘルプサービス）
2. 訪問入浴介護
3. 訪問看護
4. 訪問リハビリテーション
5. 通所介護（デイサービス）
6. 通所リハビリテーション（デイケア）
7. ベッドのレンタル
8. 車椅子（電動含む）のレンタル
9. その他（ ）のレンタル
10. 短期入所生活（療養）介護（ショートステイ）
11. ポータブルトイレの購入
12. 入浴関連用具の購入（シャワーベンチなど）
13. その他（ ）の購入
14. 住宅改修（手すり、段差の解消など）
15. 有料老人ホーム
16. グループホーム
17. 特別養護老人ホーム
18. 老人保健施設
19. 介護療養型医療施設
20. 全く知らなかったので利用していない
21. 必要性がないので利用していない

4. その他の利用しているサービスについてあてはまるものに○をつけてください

《あてはまるものすべてに○》

1. ふれあいサロン
2. ミニデイ
3. 転倒予防教室
4. 地区健康教室
5. シルバーデイハウス
6. 緊急通報システム「きずな」
7. 配食サービス
8. その他（ ）

5. あればいいと思うサービスについてあてはまるものに○をつけてください

《あてはまるものすべてに○》

1. 人と交流できる場
2. 毎日出かけられる場
3. 運動・体操の教室
4. 趣味の教室
5. 農作業・園芸の機会
6. ボランティアの機会
7. パソコン・インターネットの教室
8. 働く場
9. 健康相談の場
10. 健康に関する講座
11. その他（ ）

6. ○○市の保健福祉サービスへのご意見等ございましたらご記入ください

最後までご回答いただきありがとうございました

10. 健康危険情報
なし

11. 研究発表

1) 学会発表

- (1) 山本美輪、和泉京子、阿曾洋子：介護保険における「要支援」・「要介護1」の後期高齢者のADL、IADLの実態，第25回日本看護科学学会学術集会講演集，250頁，2005

介護保険における「要支援」・「要介護1」の後期高齢者のADL・IADLの実態

○山本美輪（大阪府立大学看護学部）

和泉京子（大阪府立大学看護学部）

阿曾洋子（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻）

【はじめに】 来年度の介護保険制度改革では要支援や要介護1の軽度者へ新予防給付が創設される。軽度者への重度化予防は重要だが諸側面の把握は十分とはいえない状況である。

【目的】 要支援や要介護1の8割である後期高齢者のADLとIADLの実態を明らかにし、介護予防を検討する基礎資料を得る。**【方法】** 対象：承諾を得た大阪府22市町村で平成16年8～12月認定の要支援5,130人と要介護1が5,734人の計10,864人**方法**：郵送調査**調査内容**：性、年齢、家族構成、ADL（カツインデックス6項目自立1点、介助要0点）、IADL（老研式活動能力指標13項目自立1点、介助要0点）**分析**：二元配置分散分析**【倫理的配慮】** 大阪大学倫理審査委員会承認を得た。研究の主旨、結果は本研究以外に用いず回答有無の不利益はない旨書面で明記し回答にて同意を得た。**【結果】** 回収数（回収率）は要支援3,871人（75.6%）、要介護1が3,724人（65.0%）の計7,602人（70.0%）、うち後期高齢者は要支援2,777人（71.7%）、要介護1が2,709人（72.7%）の計5,486人であった。男性1,455人（26.6%）、女性4,020人（73.4%）、平均年齢82.5歳（SD±5.1）、家族構成は独居1,775人（32.4%）が多く夫婦二人は1,381人（25.2%）であった。要介護度別ADLでは「入浴」0.24点、「大小便を失敗する」0.16点の差で有意に要支援が高かった（ $p < 0.001$ ）。IADLは「バスを使って一人で外出できる」0.31点、「銀行貯金・郵便貯金の出し入れができる」0.30点、「日用品の買い物ができる」0.30点、「自分で食事の用意ができる」0.29点の差で有意に要支援が高かった（ $p < 0.001$ ）。家族構成別の要支援、要介護1のADL・IADL合計点平均値の差は「夫婦二人」が有意に大きかった（ $p < 0.001$ ）。**【考察】** 要支援に比べ要介護1はADLの「入浴」「排泄」、IADLは日常生活能力が低く、要支援と要介護1のADL・IADL合計点平均値の差は「夫婦二人」が大きかった。よって要支援と要介護1へ同じ介護予防を行うのではなく要支援はADL・IADL保持向上の支援、要介護1は加えて生活支援、家族構成別の支援の必要性が示唆された。明らかになった実態について縦断調査予定である。

- (2) 和泉京子、山本美輪、阿曾洋子：介護保険における「要支援」・「要介護1」の後期高齢者の心理状況の実態，第25回日本看護科学学会学術集会講演集，251頁，2005

介護保険における「要支援」・「要介護1」の後期高齢者の心理状況の実態

○和泉京子（大阪府立大学看護学部）

山本美輪（大阪府立大学看護学部）

阿曾洋子（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻）

【はじめに】

来年度の介護保険制度改革では、要支援や要介護1の軽度者へ新予防給付が創設される。重度化予防に軽度者へ予防対策が重要であるが、軽度者の諸側面の把握は十分と言えない状況である。

【目的】

要支援や要介護1の8割である後期高齢者の心理状況の実態を明らかにする。これより介護予防対策を検討する基礎資料を得る。

【方法】

対象：承諾を得た大阪府22市町村で平成16年8～12月認定の要支援が5,130人と要介護1が5,734人の計10,864人 **方法：**郵送調査 **調査内容：**性、年齢、家族構成、主観的健康感、高齢者抑うつ尺度簡易版（GDS5：5点満点中2点以上の場合うつ傾向を疑う）、生きがい **分析：** χ^2 、T検定、一元配置分散分析

【倫理的配慮】

大阪大学倫理審査委員会で承認を得た。研究の主旨、結果は本研究以外に用いず回答有無の不利益がない旨書面で明記し回答にて同意を得た。

【結果】

回収数（回収率）は要支援が3,871人（75.6%）、要介護1が3,724人（65.0%）の計7,602人（70.0%）、うち後期高齢者は要支援が2,777人（71.7%）、要介護1が2,709人（72.7%）の計5,486人であった。男性1,455人（26.5%）、女性4,020人（73.7%）、平均年齢82.5歳（SD±5.1）、家族構成は独居1,775人（32.4%）と最も多く、次いで夫婦二人1,381人（25.2%）であった。主観的健康感「健康である」が要支援は1,028人（37.3%）、要介護1は897人（33.7%）で要支援に比べ要介護1の「健康である」が有意に少なかった（ $p < 0.01$ ）。高齢者抑うつ尺度得点は要支援は2.1点、要介護1は2.6点で要支援に比べ要介護1が有意に高かった（ $p < 0.001$ ）。家族構成別の高齢者抑うつ尺度得点は夫婦二人に比べ独居が有意に高かった（ $p < 0.01$ ）。生きがい「あり」の要支援は1,153人（51.3%）、要介護1は879人（39.8%）で要支援に比べ要介護1の「あり」が有意に少なかった（ $p < 0.001$ ）。

【考察】

要支援に比べ要介護1は主観的健康感が低く、うつ傾向が強く、生きがいが少なかった。また、独居にうつ傾向が強かった。これより主観的健康感の保持向上、うつ予防、生きがい支援及び家族構成も考慮した支援の必要性が示唆された。明らかになった実態について縦断調査予定である。